

3

部会報告（令和2年度 第1回開催分）

教育・子育て部会

元年度運営方針の自己評価

○小学生の放課後学習支援

- ・対象学校は2校のみだが、今後はもっと増やしてほしい。
- ・見学に行ったときに、答えを見ている子がいたが、改善はできているのか。
→【区役所】業者には、個々の学力や状況を見ながら対応することをお願いしている。

○動画を活用した幅広い世代の英語学習

- ・子ども向けだけでなく、大人も学習できる英語教材を区として提供するのはいかがでしょうか。

○学習支援の協力体制

- ・区全体で例えば2年生全員が九九を言えるなどわかりやすい目標を立てて、みんなで協力して進められたら。

区将来ビジョン 2025（骨子案）

いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり（P17）

- ・地域福祉コーディネーターは、高齢者の見守りを役割としていたが、子どもからの相談にも応じることとなった。子どもが相談しやすい状態となってほしい。

安心して子育てできるまちづくり（P18）

- ・マタニティセミナー等の事業について、新型コロナウイルス感染症拡大の中、オンライン講座などで学べる機会も必要。

未来の都島を担う人材育成（P20）

○小学生の放課後学習支援

- ・今は事業者を通じて支援を行っているが、予算的な問題もあるため、地域の方がボランティアで教えるという方法があってもいいのでは。教師のOBの方などもある。

○地域による学習環境の整備

- ・園庭開放など、地域でお母さんが集まる場所をリサーチして案内文書を置いてもらうなど、そういうことも考えられたら、もう少しつながりが広がっていくのでは。



ご意見に対する区将来ビジョン 2025（素案）への反映状況

【2-3 安心して子育てできるまちづくり】（18ページ）

・現状・課題

骨子案	素案
子育てに不安を感じる保護者が、相談できる場所がわからず地域で孤立する傾向にある。	子育てに不安を感じる保護者が、相談できる場所がわからず地域で孤立する傾向にある。 また、感染症への対応やライフスタイルの変化によって、対面での相談がしづらいケースがある。

3

部会報告（令和2年度 第1回開催分）

安心・つながり・地域福祉部会

元年度運営方針の自己評価

○地域福祉コーディネーター

- ・利用者にとってはいい仕組みだが、高齢者をはじめみんなにも分かりやすいようなネーミングにしたほうがいいのでは。
- ・広報誌にも掲載された「おうち日和」というチラシを利用して、地域を回っている。今までは会館で高齢者の方などにお会いすることができたが、新型コロナ禍になってから、ほとんど出入りがなくなり、把握できなくなった。

○京橋駅前の路上喫煙マナー

- ・自治会や商店街と行政が一体となって、マナー啓発等を行っており、ボランティアで毎回参加しているが、もっと参加者が増えたい。

区将来ビジョン 2025（骨子案）

防災のまちづくり（P13）

○災害時避難所の新型コロナ対策

- ・新型コロナ禍での災害時でも、安心して、避難所に入れるのか心配。
→【区役所】学校との協力により避難できる教室数の拡大や、分散避難ということで運動場も開放し、避難想定人数は確保した。ただ、想定外にも耐えられるように、引き続き避難場所は確保していくような努力は必要。

コミュニティ豊かなまちづくり（P16）

いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり（P17）

○新型コロナ禍でのつながり

- ・新型コロナ禍での一人暮らしの高齢者の見守り活動は重要。日頃から、地域でのつながり、顔の見える近所付き合いがやはり大切である。
- ・日頃からの地域でのつながりにスマホを活用できるよう、高齢者向けにスマホ教室を実施してはどうか。
- ・高齢者の見守りや地域とのつながりの方法など、引き続き部会で議論していきたい。



ご意見に対する区将来ビジョン 2025（素案）への反映状況

【2-1 コミュニティ豊かなまちづくり】（16 ページ）

・めざす状態

骨子案	素案
地域コミュニティづくりなど地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態。	新たな生活様式を踏まえた地域コミュニティづくりなど地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態。

部会報告（令和2年度 第1回開催分）

まちづくり・魅力部会

元年度運営方針の自己評価

- 区の特徴ある文化資源を活かした青少年育成
 - ・（元年度で事業は終了するが）子どもたちがアートなどでプロフェッショナルな部分とどうつながっていくかは都島区でも重要なテーマ。（事業実施について）何かしらの方法や、きっかけがあればいいと思う。
- 区の魅力発信
 - ・ YouTube（の区魅力発信動画）について、回数だけ見ていると昨年度とほとんど変わらない。他の区との比較や、コンテンツも本当に何がいいのか、求められているのかなど、よく考えたほうがいい。
 - ・ 与謝蕪村以外の観光資源を再発見できたら。情報発信だけでなく、コンテンツの発見や、区の魅力を高めることも必要。
 - ・ （取組として）やったことをもう少し検証することが必要。そこで得られたものを次に生かせるよう、社会的にも状況が変わってきているため、少し仕組みを考えていく必要があるのでは。

区将来ビジョン 2025（骨子案）

魅力あるまちづくり（P19）

- 水辺のまちづくり
 - ・ 毛馬桜之宮公園は景観が良くない場所もあり、歩行、ランニング、自転車のゾーン分けもなく危険。また、景観に統一性がないのが残念。
 - ・ 公民連携という形で、民に関わってもらうために公がどういう支援や、仕組みをつくったりするのが重要。
- 区の魅力発信
 - ・ コンテンツ発信はされているが、認知され具体的な評価としてつなげていくためには、見せる手法を変えていくべき。
- コロナ禍でのまちづくり
 - ・ 今の状況だったら Zoom とかりモートでのつながりも必要。新しいことにチャレンジしたいと思う後期高齢者の方もいる。このチャンスをうまく活用して、そういう人たちにコミュニケーションのツールをつなげていける可能性がある。



ご意見に対する区将来ビジョン 2025（素案）への反映状況

【3-1 魅力あるまちづくり】（19 ページ）

・取組の方向性

骨子案	素案
関係機関と連携・協働したイベントや情報発信による機運づくりにより、水辺のまちづくり、地域の活性化を進める。また、区の歴史文化資源の発信を行うとともに、区民が関心を持てる事業を展開する。	関係機関と連携・協働したイベントや情報発信による機運づくりにより、水辺のまちづくり、地域の活性化を進める。また、区の歴史文化資源の発信を行うとともに、区民が関心を持てる <u>魅力創出</u> 事業を展開する。